

- 1 主題名 みんなが楽しいかくれんぼ 4-(1) 公徳心、規則の尊重
- 2 資料名 かくれんぼ (出典 彩の国のどうとく(小学校低学年)「きょうもげんきに」)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、内容項目4-(1)「約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に使う」であり、児童が生活する上で必要とされている社会規範を守るとともに、公徳心を持ち、それらの精神を日々の生活の中に活かしていく児童を育てようとする内容項目である。これは、中学年の4-(1)「約束や社会のきまりを守り、公徳心をもつ」ことや、高学年の4-(1)「公徳心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす」ことへと発展していく内容である。

特に本時では、約束やきまりを守ることについて注目する。人間が他人と協力しながら生活するためには約束やきまりごとが欠かせない。一見、自分にとって不利益になることでも、みんながきまりを守ることがみんなの幸せにつながっていることなど約束を守る意義について考えさせたいと思い、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

本学級の児童も、小学校に入学して半年が経ち学校でのルールに慣れてきた。次時の用意をしてから休み時間にする、チャイムが鳴ったら席に着く、手を挙げて指名されてから発言すること等、学校には様々な約束があるが、だいたい定着してきている。また、本校では業間休みは外で遊ぶというきまりがある。このきまりのおかげもあって、本学級の児童は外遊びが大好きで、業間休みや昼休みは全員外に出ている。また、週に1回の学級遊びの日には、全員で「鬼ごっこ」や「だるまさんがころんだ」等の遊びをしている。

この遊びを通して、ルールを守らなければならないということは多くの児童は認識しているが、自己中心的な面が強い児童も中には見られる。休み時間中に「〇〇さんはタッチされても鬼にならない。」「〇〇さんは片付けしないで戻っていた。」等、訴えてくる児童も中にはいる。

以上の様子から、約束やきまりの大切さを言葉では分かっているが、実感まではできていないように思われる。そこで、約束やきまりの大切さを考えることを通して、互いに約束やきまりを守っていかうとする態度を育てたい。

(3) 資料について

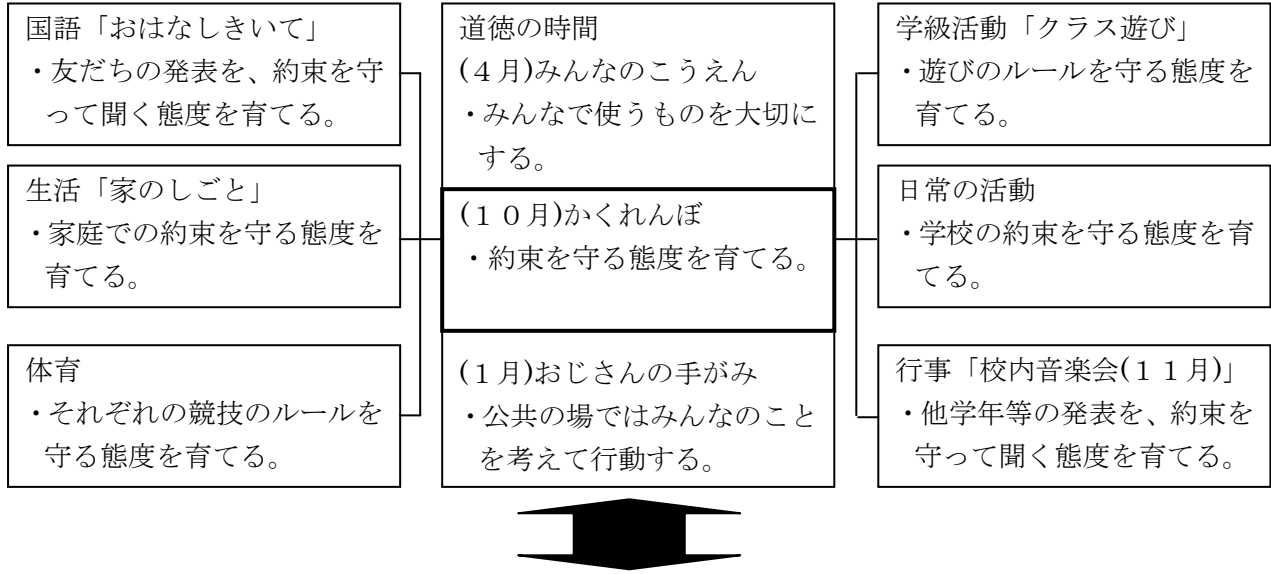
本資料は、主人公のくまさんが仲間の動物たちとかくれんぼをするなかで約束を破ってしまい、仲間の動物たちが心配する様子を通して約束を守ることの大切さを学ぶことのできる資料である。

くまさんは体が大きかくれんぼではすぐに見つかってしまう。動物の仲間たちといつも遊んでいるが、以前りすさんが川に流されそうになったことがあり「小川を越えないこと」というのが動物たちの約束になっている。今日は、うさぎさんが鬼となりかくれんぼをしている。くまさんは今日こそは上手に隠れたいと、隠れる場所を探すがなかなかいい場所が見つからない。「もういいかい。」の声が聞こえ時間がない中、小川の向こう側にくまさんが隠れることのできる大きな木を見つける。今日は見つかりたくないという気持ちの強いくまさんは小川を越えて木の影に隠れてしまう。その後、どこを探してもくまさんが見つからない動物の仲間たちは、大きな声でくまさんを探し始める。その声がかくまさんの耳にも届き、くまさんは大慌てで仲間たちの前へと飛び出す。仲間たちのくまさんを心配する姿を見て反省し、仲間たちに謝るという内容である。

いつも最初に見つかってしまう、体の大きなくまさんの「太い木のかげにかくれたい」という切

実な思いから、約束を破ってしまう気持ちに十分共感させたい。くまさんの自分の都合だけで約束を破り仲間に心配をかけてしまう場面では、ペープサートを活用し、くまさんの気持ちを十分考えさせたい。そのことから決まりやルールを守ることの意義を考えさせ、きまりやルールを守ることがお互いの楽しい生活につながることを実感させたい。

4 他の教育活動との関連



家庭との連携

- ・授業参観での道徳の授業の公開
- ・学級通信で道徳の授業の様子を伝える
- ・家庭でも約束やきまりを守るについて話し合ってもらおう

5 学習活動

(1) 本時のねらい 集団生活の中でのきまりやルールを守る態度を育てる。

(2) 展開

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ☆評価	資料 時間
導 入	1 かくれんぼがどんな遊びか話し合う。	・みんながかくれて、おにが見つける遊び ・休み時間にみんなでやった。 ・楽しかった。	・一般的なかくれんぼの話から本資料の約束へと話題をつなげていく。	3分
と ら え る	2 資料について知る ・条件・状況を知る 【登場人物】 くまさん（主人公） 森の動物たち（うさぎ・りす等） 【条件・状況】 ・森の中で動物たちがかくれんぼをしている。 ・「小川をこえないこと」という約束がある。（リスさんが流されそうになったから。） ・くまさんは体が大きくていつもすぐに見つかってしまう。 ・資料を聞く		・登場人物・条件・状況をしっかり押さえる。 ・登場人物の気持ち	10分 ペー

展	<p>3 話題の整理と確認をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いたいところや心に残ったところを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなにあやまる場所。 ・太い木にかくれてよろこんでいるところ。 	<p>を考えやすいようにペープサートや切抜絵を活用し資料渡しをする。</p> <p>☆話し合う意欲を高めることができたか。</p>	<p>プサート 切り抜き 絵</p>
開 深 め る	<p>4 主人公「くまさん」の気持ちを中心に話し合う。</p> <p>①太い木を探しているくまさんはどんな気持ちだったか</p> <p>②向こう岸にちょうどいい木を見つけた時のくまさんはどんな気持ちだったか</p> <p>③小川を飛び越えて太い木のかげにかくれたくまさんはどんな思いだったか</p> <p>④みんなにあやまったくまさんはどんなことを考えたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どこにしようかな ・今日は見つかりたくない。 ・いい場所はないかな。 ・いつもはやく見つかったから、今日は最後まで見つかりたくないな。 ・やった。あの木ならかくれられる。 ・ちょうどいい木が見つかったうれしい。 ・どうしよう。約束を破ることになってしまう。 ・川の向こうに行くと、みんなにめいわくをかけちゃう。 ・しめしめ。これで見つからないぞ。 ・今日は最後まで見つからないぞ。 ・うれしいけど、約束を破っちゃったな。 ・約束を守るよりも、見つからない方がいいや。 ・こんなに心配してくれているなんて思わなかった。 ・みんなに心配させて。ごめんなさい。 ・かくれんぼがつまらなくなってごめんね。 ・約束を破ると嫌な気持ちになる。今度からは、約束は破らないようにしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・くまさんのかくれる場所を見つけた気持ちに共感させる。 ・小川を渡って約束を破ることにもふれる。 ☆迷っているくまさんの気持ちに共感できたか。 ・くまさんのうれしい気持ちに共感しつつ、みんなが心配していることにもふれる。 ・約束を破ったことで他の動物達に心配と迷惑をかけたことに気づき後悔している気持ちを考えさせ、これからの生き方につなげていく。 ☆約束を守るとみんなが楽しく遊べることに気づいたか。 	<p>25分</p> <p>ペー プサ ート</p> <p>ペー プサ ート</p>

	見 つ め る	5 自己の振り返り ・みんなのまわりにはどんな 約束がありますか。 ・約束を守ってよかったこと はありますか。 ・約束を守れなくて困ったこ とはありますか。	・ろうかは右側を歩く。走ると危 ない。 ・チャイムが鳴ったら席につく。 ・信号を守る。交通事故にあわな いため。	・生活の中では様々な様々 な約束やきまりがあることをあらた めて気づかせたい。 ☆約束を守ることの 大切さを実感し、 実践意欲を持つこ とができたか。	5分
終 末	あ た た め る	6 教師の説話を聞く。 ・交通指導員さんや校長先生 など様々な立場からみんな が約束守っている姿を紹介 する。		◎約束を守ってよか った具体例を紹介 し、日常生活の中 には約束やきまり が存在しているこ とに改めて気づか せたい。	2分

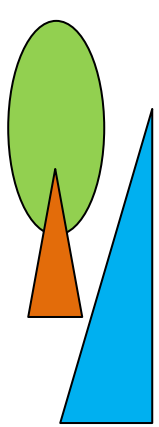
6 評価の観点

- ・場面ごとの主人公の気持ちを考えることができたか。【発言・観察】
- ・決まりを守ることの必要性に気づくことができ、実践意欲を持つことができたか。【発言・観察】

7 板書計画

♡ ふといきにかくれた
しめしめ、これで見つからないぞ
きょうはさいごまでみつからないぞ
うれしいけど、やくそくやぶっちゃった
やくそくよりも、みつからないほうがい

♡ みんなにあやまる
ともしんばいしてくれたんだ
しんばいさせてごめんなさい
かくれんぼがつまらなくなつてごめん
こんどからはやくそくをまもる



♡ ふといき木をさがす
どこにしようかな
きょうはみつかりたくない
いいばしよはないかな
いつもはやくみつかるとだよね
♡ ふといき木をみつけた
やった、あの木ならかくれられる
ちようどいい木がみつかつてうれし
いだろう。
川をわたると、やくそくをやぶっちゃう

かくれんぼ

かくれんぼをしている
さん
さからだがおおい
ま
くいつもすぐにみつか
る

なかまたち
うさぎ
りす
きたぬき
きつね

やくそく「おがわをこえないこと」

資料分析表

資料名『かくれんぼ』（彩の国のどうとく(小学校低学年)埼玉県教育委員会発行)

【スタートの条件・情況】

くまさん(主人公)は、友だちの動物たちとかくれんぼをしている。「小川をこえないこと」が動物たちの約束。約束はりすさんが小川で流されそうになったからできた。体の大きなくまさんはいつもすぐにおにに見つかってしまう。体を隠せそうな大きな木を見つけるが、みんなとの約束で渡っては行けない小川の向こうにあり悩んでしまう。

【話題につなげたい場面】

【キーワード】

【話合いの柱】

かくれる場所を探すくまさん	「いつもぼくは、さいしょにみつかっちゃう」	①かくれるばしょをさがしているくまさんの気持ち
むこうぎしに太い木を見つけるくまさん	むこうぎしの太い木を見つめて、くまさんはまよいました。(どうしよう…)	②太い木を見つけたときのくまさんの気持ち(むこうぎしの太い木を見つけて迷っている気持ち)
小川をとびこえて、太い木のかげにかくれるくまさん	(しめしめ…)くまさんは、うれしくなりました。	③太い木のかげにかくれたくまさんの気持ち(約束をやぶっていることにもふれる)
友だちの動物たちがくまさんをさがす	みんなは大声でよびました。あわててみんなの前に出ていく	(友だちの動物たちがくまさんのことを心配していることにもふれる)
友だちの動物たちのところに行き、みんなにあやまるくまさん	みんなは、ほっとした顔で言いました。「ごめんね、みんな…」(こんどは、みんなが楽しいかくれんぼにしよう。)と心にきめました	④みんなにあやまっているときのくまさんの気持ち

【ねらいとする人間像】 (内容項目 4 - (1))

集団生活の中でのきまりやルールを守れる子